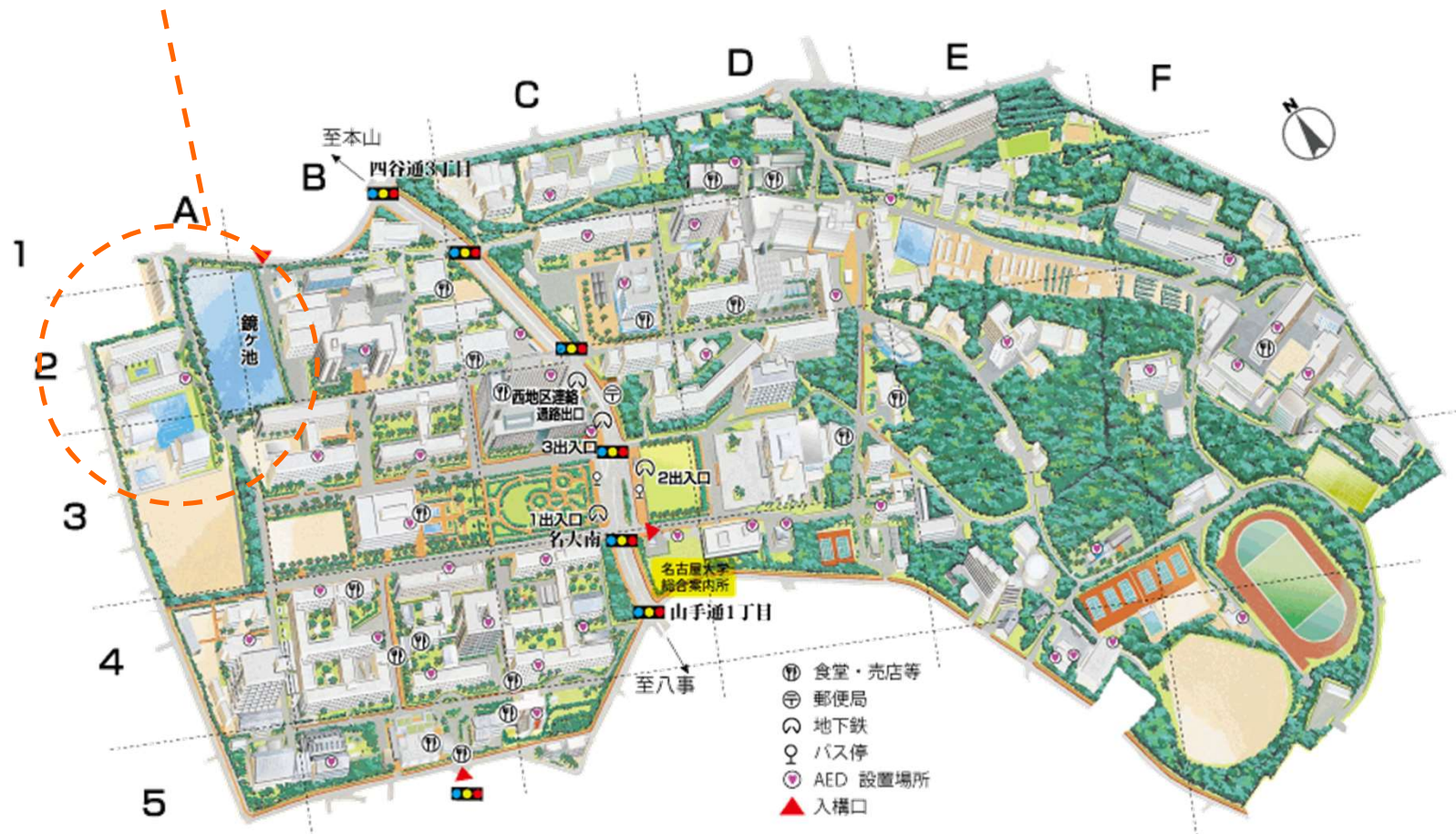


令和6年度
「WWLコンソーシアム構築支援事業におけるEBPMに
向けたデータ収集・分析、効果検証等のための調査研究」
成果報告会について

名古屋大学教育学部附属中・高等学校
三小田博昭

名古屋大学教育学部附属中・高等学校





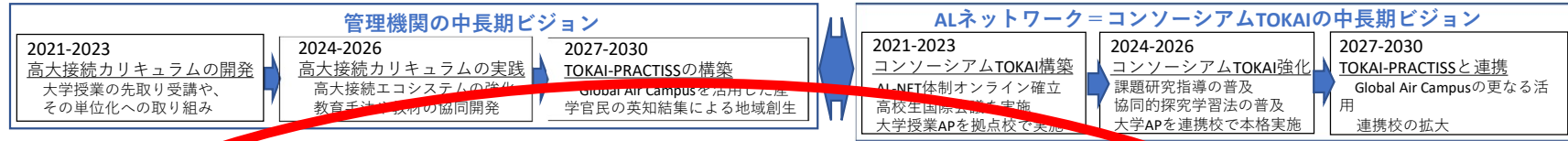
名古屋大学教育学部附属中・高等学校 WWL 構造図

Society 5.0をリードするコンソーシアムTOKAIの構築 ～STEAM for SDGs We are the World～



目標：学際的素養を備え「勇気をもって未来をつくる」イノベティブなグローバル人材の育成

育てたい4つの力：①科学的に思考・吟味し活用する力 ②探究し続ける力 ③多様な価値観を持つ他者と協同する力 ④新たな価値を生み出す力
 ベースアイデア：個別最適化カリキュラム ICTを効果的に活用したDual Learningの実践 No Child Left Behind(NCLB)





ALネットワーク＝コンソーシアムTOKAIの構築

国内協働機関

For Me NewYork
(スタートアップ企業)

Local multi-campus (事業連携校)

- 愛知県 県立明和高等学校
- 県立瑞陵高等学校
- 名古屋 市立向陽高等学校
- 私立 金城学院高等学校
- 岐阜県 県立岐阜高等学校
- 三重県 県立四日市高等学校

ローカル・マルチキャンパス × メインキャンパス

- ・大学教育の先取り履修
- ・学会へ参加
- ・「課題研究」成果発表会
- ・大学の「知」をコンソーシアム高校に

(事業拠点校)
名古屋大学教育学部附属中・高等学校

- SSH基礎枠(2006-2020)
- SSH重点枠(2018-2020)
- IB調査研究(2012-2014)
- SGHアソシエイト(2014)
- SGH(2015-2019)

AL-NET
推進委員会

メインキャンパス



情報共有
プラットフォーム
AL-NET運営委員会
WWL事務局

(管理機関)
名古屋大学



岐阜大学



MAKE NEW STANDARDS.
東海国立大学機構

Early College

大学のリソースを活用してより高度な内容を学ぶ

- ・大学の授業を受講し単位認定 (Advanced Placement: AP)
「名古屋大学基礎セミナー」「名古屋大学G30program」
「名古屋大学理系/文系基礎講座」(オンライン/オフライン)
- ・講師は大学教員 (ハイフレックス)
「学びの杜」「合宿型高大接続プロジェクト」
- ・留学生がファシリテーター (世界中から参加)
「ALE (Active Learning in English)」 「高校生国際会議」
- ・研究室と協同研究の生徒研究員制度

協同実施
×
開発

開発
×
協同実施

グローバル・マルチキャンパス × メイン

- ・留学生受け入れと高校生
- ・Global Field Work Online
- ・Joint Research Program
- ・Global Mentor System

海外

UNIS-UN
(国連)

Global
(事業)

- アジア 新モンゴル
- 北米 Bard High S
- NC School of
- Chapel Hill
- East Chapel
- ヨーロッパ Vilni
- ORT gimna
- 立教英国学

Early College

大学のリソースを活用してより高度な内容を学ぶ

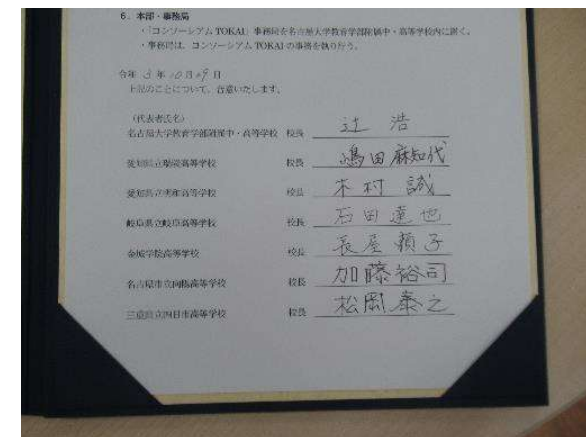
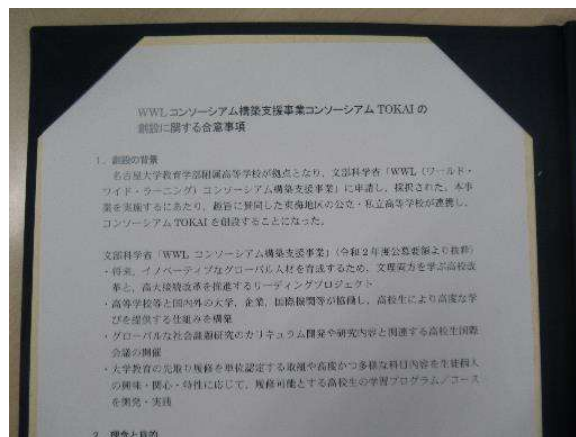
- **大学の授業を受講し単位認定（Advanced Placement: AP）**
「名古屋大学基礎セミナー」「名古屋大学G30program」
「名古屋大学理系/文系基礎講座」（オンライン/オフライン）
- **高校の選択教科としてのAP**
- **講師は大学教員（ハイフレックス）**
「学びの杜」「高大接続探究ゼミ」
- **留学生がファシリテーター（世界中から参加）**
「ALE（Active Learning in English）ALE Camp」
「高校生国際会議」
- **研究室と協同研究の生徒研究員制度**

MAKE NEW STANDARDS.
東海国立大学機構



コンソーシアムTOKAI

- 愛知県 県立明和高等学校
- 県立瑞陵高等学校
- 名古屋 市立向陽高等学校
- 私立 金城学院高等学校
- 岐阜県 県立岐阜高等学校
- 三重県 県立四日市高等学校
- 名古屋大学教育学部附属中・高等学校

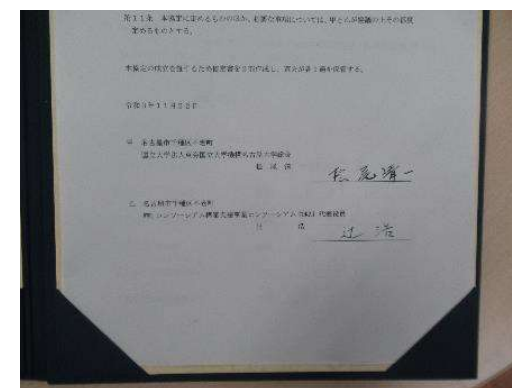
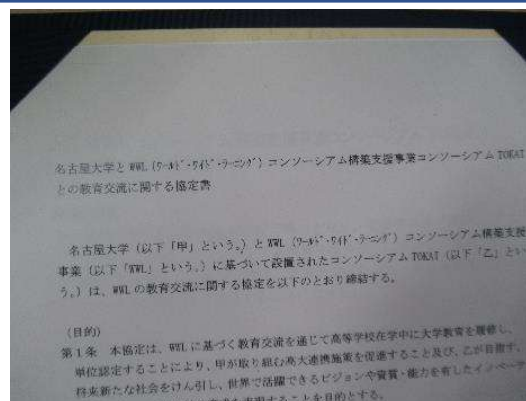


コンソーシアムTOKAI

×

名古屋大学

○ 協定書の締結



名大附属の生徒だけでなく、コンソーシアムTOKAIの生徒にもAP制度が適用される!!

名古屋大学の授業を受講し単位認定 (Advanced Placement: AP)

「名古屋大学基礎セミナー」

5限 (16:30~18:00) 2003年度は17講座開講2 各講座高校生定員 (1名~3名)

- ・1年目 本校生徒のみ 高校3年生1名と2年生22名が参加した。
- ・2年目 参加者：**名大附属 10名**、**明和高校 2名**、**向陽高校 2名**、**金城高校3名**
(A+評価が10名、A評価が7名)
- ・3年目 参加者・**名大附属 17名** **瑞陵高校 2名**、**金城高校 3名**
(A+評価が6名、A評価が14名、B評価が2名)

課題1年目の課題：キャンパスでの対面授業のため、遠隔地の高校の生徒が参加できない・・・

「名古屋大学基礎セミナー 夏季集中セミナー」

夏休みに「基礎セミナー 夏季集中を開催」

- ・2年目 化学実験で調べてみよう、時事英語で学ぶファシリテーション
名大附属 13名 **明和高校 5名**、**瑞陵高校 1名**、**向陽高校 5名**、**四日市高校 4名**、**金城高校 2名**
(A+評価が20名、A評価が9名)
- ・3年目 化学実験で調べてみよう、物理実験で調べてみよう、
時事英語で学ぶファシリテーション
名大附属 19名 **瑞陵高校 1名**、**向陽高校 2名**、**金城高校 3名**、**岐阜高校 4名**
(A+評価が15名、A評価が14名)

名古屋大学 教養教育院
夏期集中セミナー
受講生募集
高校生と大学生が交流しながら学ぶ
アクティブ・ラーニング
名古屋大学の正課科目として単位認定

講座1 化学実験で調べてみよう
担当：珠玖 良昭 (教養教育院)
本科目は化学実験を主体とした探究型の授業です。実験を楽しみながら、疑問に思ったことは文献などで調査し、設定した課題を解決していくことで、真理探究の方法と面白さを学んでもらえればと思います。(開講日：8/8,17,18,19,23)

講座2 時事問題で学ぶファシリテーション
担当：児玉 英明 (教養教育院)
今年度取り上げる時事問題は安楽死です。全身の自由を奪われ、寝たきりになる前にスイスの安楽死団体に入会し、死を遂げたいという神経難病を患う女性のドキュメンタリーを教材にして、多様な考え方を持った受講生と対話を重ねていきます。
(開講日：8/17,19,22,23)

名古屋大学 東山キャンパス
10:30~12:00, 13:00~14:30, 14:45~16:15

「名古屋大学 G30program Studium Genarale」

金曜5限 (16:30~18:00) オンライン実施

- ・1年目 参加者なし
- ・2年目 春学期 四日市高校 3名、金城高校 1名 (A評価が3名)
秋学期 金城高校 2名 (C評価が1名)
- ・3年目 春学期 名大附属 1名 金城高校 1名 (C評価が2名)
秋学期 名大附属 1名 (3月に成績が出る)

「G30program Studium Genarale」受講生拡大の試み

Studium Genarale Open Courseの設置

※APではなく、規定時間受講した生徒には、名古屋大学から修了証を付与。

→ Studium Genarale APへ向けた取組

- 2年目 名大附属 7名 明和高校 1名、向陽高校 2名、四日市高校 9名、岐阜高校 5名、金城高校 9名
修了証取得者 14名
- 3年目 名大附属 8名 明和高校 4名、向陽高校 12名、金城高校 9名)
修了証取得者 11名

名古屋大学の授業を受講し単位認定（Advanced Placement: AP）の成果

実際の活用（2024年度 名古屋大学入学生のうち2名が、APを実際に活用している!!

- ・ 法学部法律・政治学科1年 名古屋大学教育学部附属高等学校 卒業生
基礎セミナー 2021年度春学期 受講
- ・ 農学部応用生命科学科1年 事業連携校 卒業生
基礎セミナー 2022年度夏期集中 受講

－ 来年度以降の予定（自走の方向性、自走に向けて必要な準備等）

名古屋大学 前期 現代教養科目（人文・社会系、自然系）AP制度の新設

※名大附属高校3年生対象

人文・社会系 金曜1限（8:45～9:15）各授業3名まで
現代社会と教育、社会学入門、政治学入門

自然系 金曜3限（13:00～14:30）各授業3名まで
物理学入門、生命科学入門、地球惑星科学入門、現代数学入門

「名古屋大学基礎セミナー、G30program Studium Generale」

事業連携校も含め2024年度も継続決定!!

講師は大学教員（ハイフレックス）

「学びの杜」（教育発達科学研究科附属高大接続研究センターとのコラボレーション）修了書が付与される

2021年度

学びの杜・学術コース

—学問の世界を知り、創造的な学びの力をきたえる—

「学びの杜・学術コース」は、名古屋大学の教員を中心とする研究者たちが、各学問領域における物の見方・考え方やこれまでの研究成果をわかりやすく解説する、本格的な学術講座です。大学レベルの高度な「学び」を体験することで、知の探究のたのしさや厳しさにふれるとともに、自分自身の興味や関心について深く考え、進学や将来のキャリアデザインにつなげてください。みなさんの参加をお待ちしています。



<注意事項>

- 対面の講義とオンラインの講義があります。
 - 対面の講義は、新型コロナウイルス感染症対策をとって実施しますが、緊急事態宣言などの状況によってはオンラインに切り替えることがあります。
 - オンラインの講義はZoomを使って実施します。参加するときは、講義の最初から最後まで、必ずカメラをオンにしておく必要があります。
- 申し込みができるのは名古屋大学教育学部附属高等学校の生徒とWWL連携校の生徒のみです。
 - 受講に際しては個人情報漏洩防止のための同意書にサインする必要があります。
- 10回以上の講義に出席した生徒には受講証明書が発行されます。
 - 申し込みめる講義の数は10から13の間です。9以下や14以上の申し込みはできません。
 - 申込者数が定員を超過した講義は抽選になります。

<申し込み方法>

- 申し込みは高大接続研究センターのウェブサイトにて受け付けます。
 - 学校ごとに参加者を決定した後、参加者が個別に自分自身で申し込んでください。
 - 申し込みページのパスワードはmori21summerです。
- 申し込みの受付期間は2021年6月15日(火)から6月27日(日)までです。
- ZoomのミーティングID・パスワードの通知や緊急の連絡をメールで行うため、申し込み時にメールアドレスの登録が必要です。
- 申し込みが完了すると、申し込み内容に記載したメールが自動的に送信されます。抽選結果は後日改めてメールで伝えます。

🔄🔄🔄

WWL拠点校と事業連携校の参加者

2021年度：88名の生徒が参加参加者 2022年度：102名の生徒が参加 2023年度：149名の生徒が参加

カレンダー

日付	曜日	時間	講義タイトル	会場	申込コード	定員
7月3日	(土)	10:00-12:00	日常における異文化との関わり -異文化接触の心理学-	オンライン	チ01	80
7月4日	(日)	13:00-15:00	今求められる「起業力とアントレプレナーシップ」とは?	名古屋大学 NIC館1階 Idea Stoa	ア01	70
7月18日	(日)	13:00-15:00	「ビジネスの種」を探求する	名古屋大学 NIC館1階 Idea Stoa	ア02	30
7月21日	(水)	10:00-12:00	日本人の英語教育における学習不安	オンライン	チ02	80
7月21日	(水)	13:00-15:00	アフリカで生まれた人類が日本人になるまで	名古屋大学博物館	セ01	30
7月25日	(日)	13:00-15:00	ビジネスプランコンテストに挑戦!	名古屋大学 NIC館1階 Idea Stoa	ア03	30
7月26日	(月)	10:00-12:00	多文化共生社会をデザインする	オンライン	キ01	80
7月26日	(月)	13:00-15:00	生物多様性 (Biodiversity) 多様性って何だろう	オンライン	セ02	80
7月27日	(火)	10:00-12:00	ジェンダーの視点から考える近代化教育	教育学部附属学校内 第一総合教室	チ03	50
7月28日	(水)	10:00-12:00	「草原の国」モンゴルの歴史と現在	オンライン	チ04	80
7月28日	(水)	13:00-15:00	ウィズ / ポストコロナ時代の生涯学習	オンライン	キ02	80
7月29日	(木)	10:00-12:00	ウニや魚がヒトに役立つ話 -糖鎖編-	教育学部附属学校内 第一総合教室	ト01	50
7月30日	(金)	10:00-12:00	海外留学のススメ	教育学部附属学校内 第一総合教室	チ05	50
8月1日	(日)	10:00-12:00	創業の最前線 -生きた案を創る-	教育学部附属学校内 第一総合教室	ト02	50
8月2日	(月)	10:00-12:00	糖はどこから来たのか、糖とは何なのか、糖はどこへ行くのか	教育学部附属学校内 第一総合教室	ト03	50
8月3日	(火)	13:00-15:00	盲導犬とパラリンピック、そして国旗の成り立ち	オンライン	ジ01	80
8月4日	(水)	10:00-12:00	...	教育学部附属学校内

「高大接続探究ゼミ」 (教養教育院、工学部等コラボレーション)

※名古屋大学から修了書が付与される

目的：WWL採択高校の1・2年生を対象に「高大接続探究ゼミ」を開講。名古屋大学の教員が、双方性のある「ゼミナール形式」の授業を開講します。高大接続探究ゼミでは、大学の学びにいち早く接することで、受験勉強とは異なった「探究的な学び」があることを伝授。参加者は2つの講座を受講 (のべ4日間)。

1年目	6講座開設 (教養教育院)	名大附属 23名	瑞陵高校 3名	金城高校 8名	岐阜高校 1名
2年目	8講座開設 (教養教育院 工学研究科)	名大附属 29名	向陽高校 2名	明和高校 1名	金城高校 7名
			岐阜高校 6名	四日市高校 17名	
3年目	14講座開設 (教養教育院 工学研究科 創薬科学研究科 糖鎖生命コア研究所 宇宙地球環境研所)	名大附属 37名	四日市高校 1名、	岐阜高校 3名、	向陽高校 4名、
			金城22名		

ー 来年度以降の予定 (自走の方向性、自走に向けて必要な準備等)

事業連携校も含め2024年度も継続予定!! 名古屋大学だけでなく岐阜大学も参加予定!!

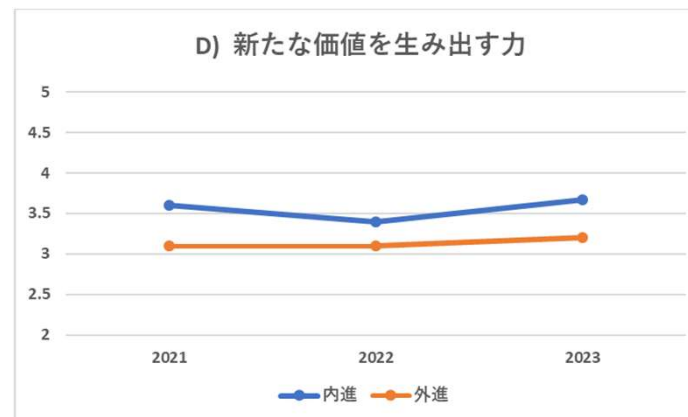
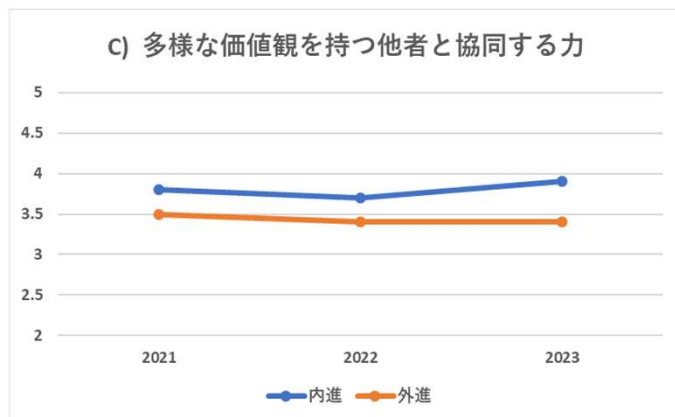
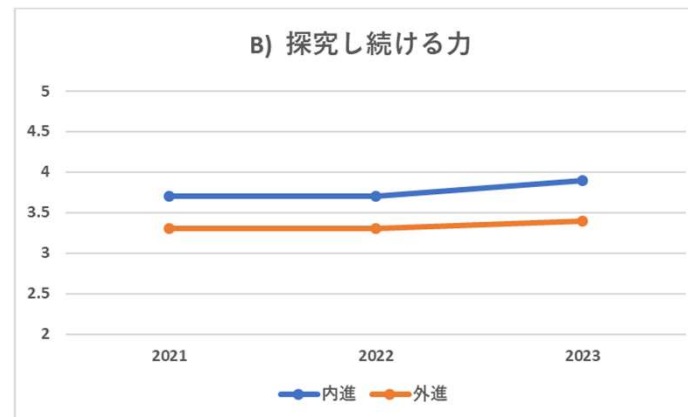
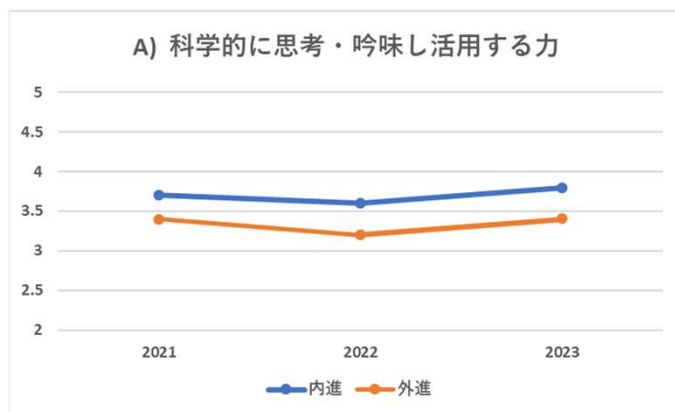
WWL効果測定 (2023年度高校3年生に実施)

学年の人数はおおよそ120名である。調査は5件法 (5:とてもよくあてはまる 4:ある程度あてはまる 3:あてはまる 2:どちらでもない 1:あてはまらない) で実施した。

WWLで育成する生徒の力

- A) 科学的に思考・吟味し活用する力
- C) 多様な価値観を持つ他者と協同する力

- B) 探究し続ける力
- D) 新たな価値を生み出す力



WWL効果測定(教員版)

1) WWLの取組を行うことは、以下のそれぞれの項目において役立つ(影響を与えた)と思いますか。

下の①～⑤からあてはまる番号を1つ選んで下さい。

- ①そう思う ②どちらかと言えばそう思う ③どちらとも言えない
④どちらかと言えばそう思わない ⑤そう思わない

問 1 新しいカリキュラムや教育方法を開発する上で役立つ

問 2 自分の指導力の向上に役立つ

問 3 自分の教科指導を向上させるのに役立つ

問 4 自分の視野を向上させるのに役立つ

問 5 自分の働く意欲を向上させるのに役立つ

問 6 自分の知識・経験を深めるのに役立つ

問 7 新しいことにチャレンジすることに役立つ

問 8 教育について考えることに役立つ

問 9 教員間の協力関係の構築や、新しい取組の実施など、学校運営の改善・強化に役立つ

問 10 学校外の機関との連携関係を築き、連携による教育活動を進める上で役立つ

問 11 地域の人々に学校の教育方針や取組を理解してもらう上で役立つ

問 12 将来のグローバルリーダーの育成に役立つ

問 13 学習環境の整備(ICTの充実、図書の実)に役立つ

ご清聴ありがとうございました。

2) WWL拠点校となり様々な取組を行う中で、以下に示す事柄で先生ご自身の興味、姿勢、能力の向上に
つと感じますか。下の①～⑤からあてはまる番号を1つ選んで下さい。

- ①そう思う ②どちらかと言えばそう思う ③どちらとも言えない
④どちらかと言えばそう思わない ⑤そう思わない

問 14 未知の事柄への興味 (好奇心)

問 15 身の回りで起こっている社会的課題への興味

問 16 担当教科の指導に対する意欲

問 17 問題を立てる力 (問題構成力、気づく力)

問 18 問題を解決する力

問 19 知識を結びつけて本質を理解しようとする姿勢

問 20 これまでの知識に自己の考えを加え、新たな価値を生もうとする姿勢

問 21 他者へ論理的に説明しようとする姿勢

3) 問 22 WWL拠点校に指定されたことで、学校の先進的な取組が充実したと思いますか。

下の①～⑤からあてはまる番号を1つ選んで下さい。

- ①そう思う ②どちらかと言えばそう思う ③どちらとも言えない
④どちらかと言えばそう思わない ⑤そう思わない

4) WWL拠点校に指定され様々な取組を行う中で、以下に示す生徒の興味、姿勢、能力の向上に役立つと感じますか。下の①～⑤からあてはまる番号を1つ選んで下さい。

- ① そう思う ② どちらかと言えばそう思う ③ どちらとも言えない
④ どちらかと言えばそう思わない ⑤ そう思わない

問 23 未知の事柄への興味 (好奇心)

問 24 身の回りで起こっている社会的課題への興味

問 25 担当教科の学習に対する意欲

問 26 科学的に思考・吟味しようとする姿勢

問 27 自分から取組む姿勢 (自主性、やる気、挑戦心)

問 28 周囲と協力して取組む姿勢 (協調性、リーダーシップ)

問 29 粘り強く取り組む姿勢

問 30 問題を立てる力 (問題構成力、気づく力)

問 31 問題を解決する力

問 32 知識を結びつけて本質を理解しようとする姿勢

問 33 これまでの知識に自己の考えを加え、新たな価値を生もうとする姿勢

問 34 他者へ論理的に説明しようとする姿勢

問 35 国内外の生徒と協同した学び合いに参加しようという気持ち
(オンラインを含む海外研修・高大接続探究セミナー・生徒研究発表会等)

問 36 海外に行こうという気持ち
(留学、海外就職、海外旅行、海外派遣への応募等)

5) 最後に先生自身についてお聞かせ下さい。

問 37 現在指導している担当教科をお答えください。

- ①国語 ②地理歴史・公民 ③数学 ④理科
⑤保健・体育 ⑥芸術・技・家・情報 ⑦英語

問 38 教員としての経験年数（非常勤講師は含まない）をお答えください。担当教科・科目は限りません。

- ①10年未満 ②10年以上20年未満 ③20年以上30年未満 ④30年以上

問 39 WWLの取組への関わりをお答えください。（複数回答可）

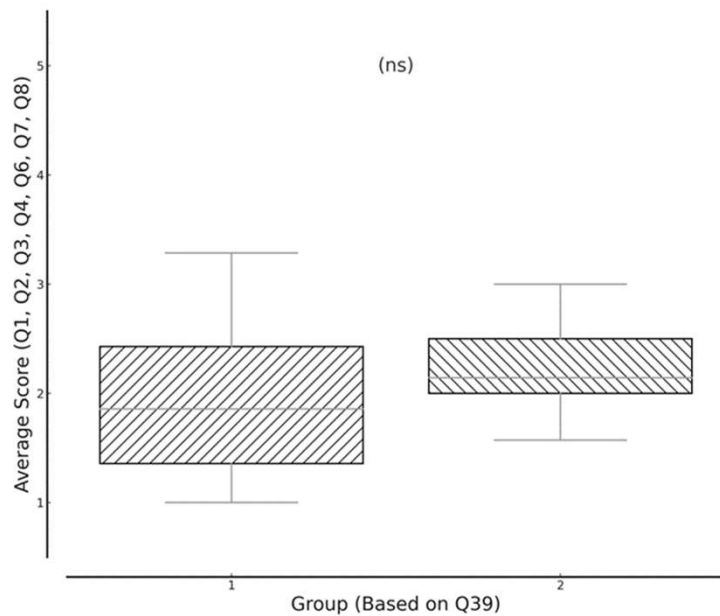
- ①WWL推進委員会のメンバー ②研究委員会のメンバー
③STEAM（データサイエンス・アカデミックライティング）の担当
④Pre-STEAM（I・II）の実施
⑤協同的探究学習を実施
⑥Early College（基礎セミナー・学びの杜・ALE・高大接続探究セミナーなど）の実施
⑦WWLプロジェクト（サイエンス・グローバル）の実施・引率
⑧その他ALネットワーク、コンソーシアムTOKAIの活動に関与

問 40 WWLの取組において、教科・科目を越えた教員の連携を重視しましたか。

- ①そう思う ②どちらかと言えばそう思う ③どちらとも言えない
④どちらかと言えばそう思わない ⑤そう思わない

アンケートは以上です。有り難うございました。

指導力向上感

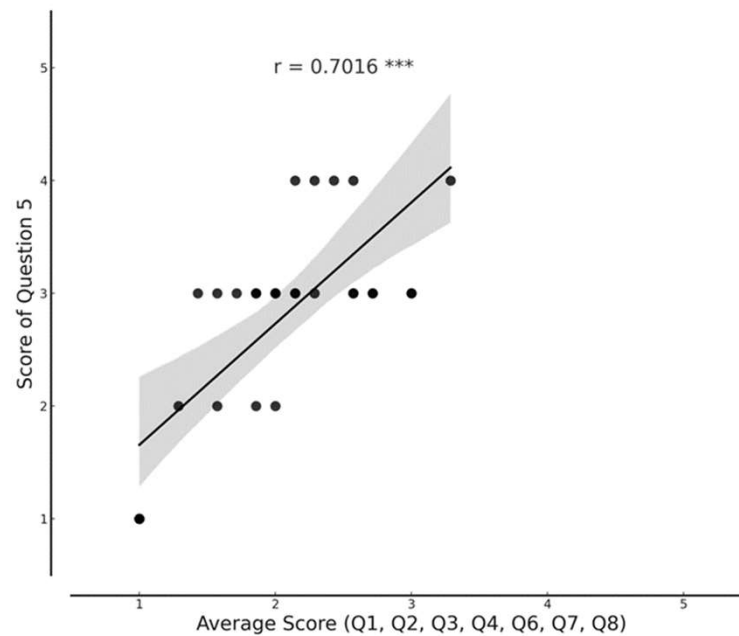


Boxplot of Average Scores by Group (Question 39)

* p < 0.05, ** p < 0.01, *** p < 0.001

WWL事業への関わり

働く意欲



Correlation between Average Score and Question 5 Score

* p < 0.05, ** p < 0.01, *** p < 0.001

指導力向上感

ご清聴ありがとうございました。